

# 5年生から始まりました!

# 「外国語活動」スタート!



板垣 信哉 教授

国立大学法人 宮城教育大学教職大学院  
教授。全国英語教育学会・東北英語教育学  
会前会長



鈴木 渉 先生

国立大学法人  
宮城教育大学  
英語教育講座 講師



リース エイドリアン 先生

国立大学法人  
宮城教育大学  
英語教育講座 講師

お答えいただいた先生  
PROFILE

## 最終回：外国語活動の評価方法は？

今年4月から全国の公立小学校で「外国語活動」が完全実施となりました。「塾に通わせた方がいいの?」「自宅でどう教えればいいのか?」などなど、不安になっているママも多いのでは?そこで外国語活動とはどんな学習なのか、宮城教育大学で英語教育を指導する先生方に3回にわたって解説いただきます。最終回は、気になる評価方法を中心にお話を伺いました。

### 外国語活動の評価は?塾は?

ままばれ編集部(以下M):外国語活動は「道徳」と同じような授業スタイルということでしょうか?  
板垣教授:ええ、そうですね。

M:では外国語活動には評価が付けられないのでしょうか?

鈴木先生:ABCや123等の数字での評価はありません。児童の実態や状況が分かる文章表記での評価が望ましいとされています。M:外国語活動に向けて学習塾に通った方がいいですか?

鈴木先生:外国語活動はスキルを磨くための学習塾とは別物になりますので、親御さんの選択にな

ると思います。お子さんが英語に興味を持てる工夫をしていただければいいと思いますね。

### 親にできる英語学習サポートは?

M:『英語ノート』の内容を教えてくださいましたが、子どもたちだけではなく、親御さんも英語が楽しめるそうですね。

鈴木先生:そうですね。前回お話しした通り「英語で言うところのなんだね!」「日本語と似ているんだね!」と、親御さんが再発見するかもしれませんね。

M:家庭学習のサポートについて



親御さんは神経質に考えなくていいですね。

板垣教授:サポートについて言えることは、「聞く」ことに早く取り組んでいる方は会話も流暢ですね。今は幼児向けの英語番組がテレビでもラジオでもたくさんありますよね。そういったものを早くから継続して耳にしておく、というのもよろしいんじゃないです

かね。学習塾に通うのもひとつの方法だと思いますが、2、3歳のうちからBGMとして家庭で英語の音を流しておくのもいいのではないかと私は考えています。そういう意味でのサポートはできると思いますよ。

エイドリアン先生:英語が「うまい」「うまくない」かよりも「好き」「できる」が子どもたちには大切です。英語が好きなお子さんを育てることはできると思いますね。

### 英語を教える先生は1人?

M:先生1人ではなくALT(外国語指導助手)のサポートもあるそうですね?

板垣教授:各市町村のALTの人数等によると思います。ALTは中学校でのサポートが多いですから、小学校は先生が中心になります。

エイドリアン先生:そうですね。外国語活動に携わる小学校の先生方からは「発音が不安、心配」という声をよく耳にします。

板垣教授:絵や音を表示する電子黒板などどんどん開発されているようですから、これからはそういったシステムを活用することになるだろうと思います。

鈴木先生:先生方は大変ですが、子どもたちは言葉で人とコミュニケーションするのはこんなに楽しいんだ!ということに気付いてくれるんじゃないかなと期待しています。

エイドリアン先生:『英語ノート』

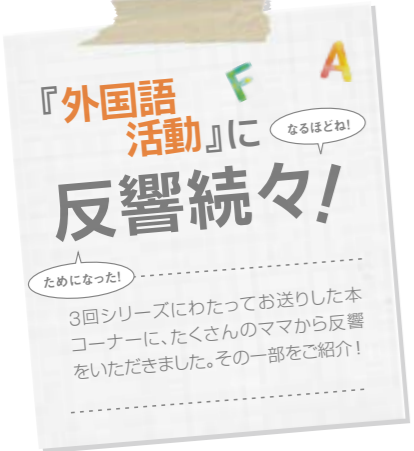
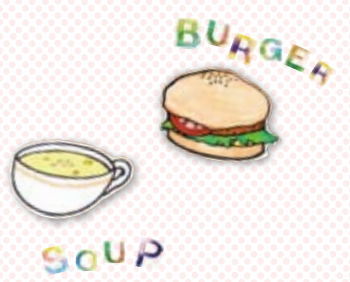
をベースにいろんな教材を使えばもっと楽しく学べると思いますね。昨日も『英語ノート』を使って授業をしてきました。「I like」「I want」を使った授業でしたが、それを使って生徒全員が英語で自己紹介したんですよ。

鈴木先生:ここ宮城教育大学では学生たちが現場に行って小学校の先生方のサポートをしているんです。

学生が地図やピクチャーカードを自作したりして。これがなかなか上手なんですよ。私には描けません(笑)。感心しています。

私も板垣教授もエイドリアン先生もよく見学に行きますが、子どもたちはとても楽しそうですね。

エイドリアン先生:そうですね。私も外国語活動を通して子どもたちが英語を楽しんでいることに一番期待していますね。



- いつも楽しみにしています。「外国語活動」のページはちょうど我が家でも当てはまるので参考になりました。(青葉区・Sさん)
- いつも楽しく拝見しています。外国語のページが参考になりました。英会話などは全く興味がなかったのですが、体験レッスンなど参加してみようと思います。(青葉区・Kさん)
- 外国語活動について理解を深められ役に立ちました。昔は日本語ができれば問題なかったのが、今では英語もできないとまずいような時代の移り変わりを実感しました。(東松島市・Sさん)
- 今年から小学校が変わるので先がけて外国語のことを載せていただけて良かったです。(若林区・Kさん)
- 6年生になる息子がいます。今年から授業で英語が導入されると聞いて不安でしたが、なぜ取り入れていこうとしているのか意味が分かりました。ありがとうございました。(若林区・Oさん)
- 毎号楽しみにしております。外国語活動についての記事ですが、たしかにお友だちがさわいできます。小学校で英語~!昔とちがうねって…。うちも1、3年の2人の息子も楽しみながら英語に慣れさせておこうかと思っています。(富谷町・Oさん)
- 英語教育に関する情報など小学生を持つ親としては興味津々。フルタイムで働いている母親は情報に疎くなりがち。「ままばれ」からの情報はとても参考になります。(若林区・Sさん)
- 外国語活動の記事がとてもためになりました。3年生になる息子がいるのですが、そろそろ英語にも触れさせておこうかなと思いました。(太白区・Kさん)
- 英語がなぜ必修になったかがわかって良かったです。(太白区・Kさん)
- 外国語活動はとても興味があり、参考になりました。この次も楽しみにしています。(大河原町・Sさん)
- 『外国語活動』の記事は我が家にとってタイムリーな話題で興味深く読みました。家族で外国語活動を楽しめるといいなあと思っています。(青葉区・Sさん)
- 私も5歳の息子のママですが、もうすぐ小学校なので習い事や英語(外国語活動)のページがとても参考になりました。(青葉区・Sさん)
- 『外国語活動』スタートの事が載っているコーナーを読んでいて、自分の子ども時代と今の子どもたちについて考えさせられました。(宮城野区・Iさん)
- 2011年4月から小学5年生でも外国語を習うようになったことを初めて知りました。発音や文法よりも、とにかく外国語を学ぶことが楽しい!と思えるような授業をしてもらいたいです。(岩沼市・Kさん)
- 外国語活動についてくわしくわかりました。(角田市・Kさん)
- いつも、生協で入手し楽しく読んでいます。特に「生活カレンダー」は細かい情報が多いのでうれしいです。今月号は外国語活動(公立小の)のページを興味深く読みました。(太白区・Hさん)